

## 精神障がい者の暮らしにおける障害年金と就労との関係性 ～現状の理解を通して今と未来に各々ができることを考える～

### 第13回 精神障害者の障害年金支援研究会

障害年金の審査において、就労との関係が注目されています。厚生労働省年金局が設置した「精神・知的障害に係る障害年金の地域差に関する専門家検討会」(以下、検討会：2015年2月～2016年3月)では、ガイドラインのことが注目されました。ですが、もう一つの取り組み課題は、就労をどのように評価するのか、ということでした。「働く障害年金は止まるのですか」等という声は、これまで、いえ今でもよく聞かれます。

そこで本研修会は、青木聖久が2013年度より科学研究費を受け取り組んでいる「精神障害者の生活支援における障害年金と就労との関係性」を報告するものです。加えて、青木が検討会の委員を担っていた立場から、今後、障害年金と就労との関係をいかに捉え、どのように障害年金受給支援を展開することが大切かについてお話しします。これが第一部です。

続いて、第二部では、社会福祉の視点から障害年金に携わる精神保健福祉士と、法律の視点から障害年金に携わる社会保険労務士を迎え、パネルトークを実施したいと存じます。ちなみに、パネラーは、障害年金受給支援についての経験はもとより、より専門性の高い方々に登壇いただきます。

そして参加者が、各々の立場で、「自分及び自分たちができること・なすべきこと」について、考える機会になればと思っています。ぜひ、奮ってご参加ください。

## 日時 2016年8月19日(金)

13:00～13:30 ▶ 受付

13:30～14:45 ▶ 講演 青木 聖久 (日本福祉大学)

休 憩

15:00～16:30 ▶ パネルトーク

コーディネーター：青木 聖久

パネラー：小島 寛氏 (精神保健福祉士、半田市社会福祉協議会：愛知)

白石美佐子氏 (社会保険労務士、白石社会保険労務士事務所：愛知)

16:30～16:45 ▶ アンケート

終 了

参加費無料

## 会場 日本福祉大学名古屋キャンパス 北館8階 8ABC

\*名古屋市営地下鉄「鶴舞」駅2番出口、JR「鶴舞」駅・公園出口右折 徒歩2分

申込方法 ▶ 下記(青木)のEメールアドレスまで、お申込みください。

基本はメール申込みとしますが、難しい場合は、ファックスでお願いします。その際は必ず、「名前(所属)・連絡先」を明記し、「8月19日参加希望」と記載ください。

定 員 ▶ 130名 先着順

問合せ先 ▶ 日本福祉大学 青木研究室 Eメールアドレス：aoki@n-fukushi.ac.jp

(申込み先) 電話：090-5977-4670

愛知県精神障害者家族会連合会 電話：052-265-5098 ファックス：052-265-9211

〈主催〉精神障害者の障害年金支援研究会

日本学術振興会科学研究費 25380792 「精神障害者の生活支援における障害年金と就労との関係性」

研究代表者：青木聖久

〈後援〉愛知県精神障害者家族会連合会

☞なお、同様の内容の研修会を、10月14日(金)に関東(さいたま市)、11月26日(土)に関西(神戸市を予定)でも開催します。